

このたび、当院が開発に携わった抗 GPL-core IgA 抗体検査が、日本の肺非結核性抗酸菌症(肺 NTM 症)の診断基準に採用されました。

肺 NTM 症の診断には胸部 CT や喀痰検査が必要ですが、十分な痰が出ない患者さんでは診断が難しいことも少なくありません。抗 GPL-core IgA 抗体検査は、採血で行うことができる血液検査です。この検査では、肺 NTM 症の原因として最も多い *Mycobacterium avium* complex (MAC) に対して体が作る抗体を調べます。血液検査だけで肺 NTM 症を確定できるわけではありませんが、画像検査や喀痰検査と組み合わせることで、診断の大きな助けとなります。

日本の診断基準に採用

2024 年に改訂された日本の肺 NTM 症診断基準では、この抗 GPL-core IgA 抗体検査が診断を補助する重要な検査として採用されました。これは、多くの研究により、この検査が肺 NTM 症の診断に役立つことが示されたためです。

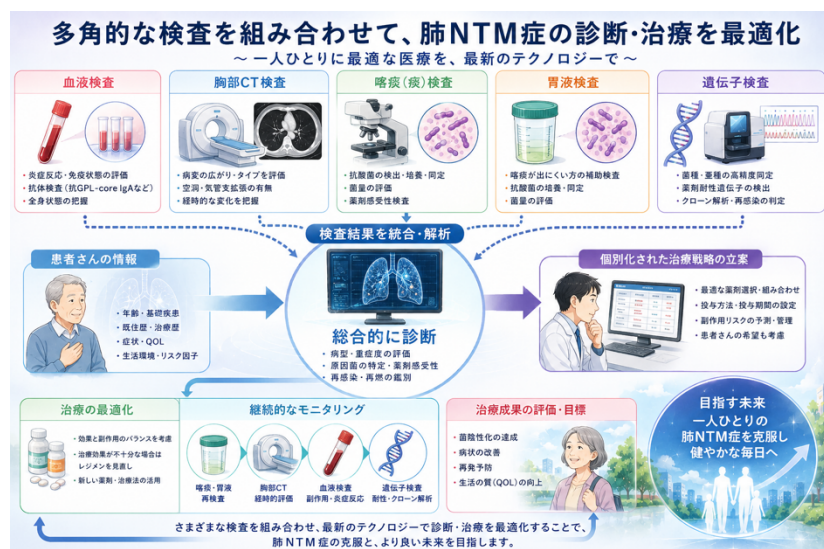
[https://www.kekkaku.gr.jp/pub/pdf/Guidelines for the Diagnosis of Non-tuberculous Mycobacterial Antimycosis 2024 rev.pdf](https://www.kekkaku.gr.jp/pub/pdf/Guidelines%20for%20the%20Diagnosis%20of%20Non-tuberculous%20Mycobacterial%20Antimycosis%202024%20rev.pdf)

当院の取り組み

当院は、この抗 GPL-core IgA 抗体検査の開発・臨床評価に携わり、その有用性を国内外へ発信してきました。さらに現在は、

- * 血液検査
- * 胸部 CT
- * 喀痰検査
- * 胃液検査
- * 遺伝子解析

などを組み合わせ、一人ひとりの患者さんに適した診断・治療を行っています。



患者さんへ

「咳が長く続く」「健康診断で気になる影がある」「肺 NTM 症ではないかと心配している」などのお悩みがありましたら、お気軽に当院へご相談ください。当院では、最新の診断技術と専門的な知識を生かし、正確な診断と最適な治療をご提供できるよう努めています。